

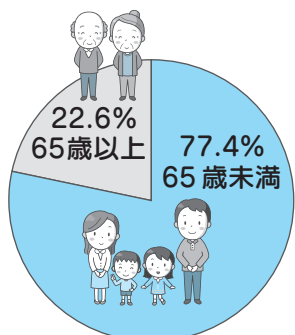
住民発！ わが町自慢型 プロモーション

大口町のプロモーションは、まず住民自らが大口町の魅力を知り（意識化）、誇りを持ち、まちのために何かしたいと思うシビックプライドを醸成することを大切にします。そして、まちへの想いの高まりをきっかけとしてまちの情報や魅力を発信する、「住民発！わが町自慢型のプロモーション」を基本方針とします。

大口町ってこんなまち

昭和30年代の積極的な企業誘致の施策により、町内には大きな企業が多く、通勤者によって昼間人口が大きく膨れ上がります。

昼間は一時的に若い人口が増えますが、住民の高齢化率（65歳以上の人口に占める割合）は22・6パーセント（29年3月現在）で、約4人に一人が65歳以上。平成28年に策定し



▲平成29年大口町総人口に占める65歳以上人口の割合

た人口ビジョンでは、2035年をピークに人口も減少に転じると予想しています。
今回のプロモーションに先駆け、

問合せ先
まちづくり推進室 ☎ 95-1614

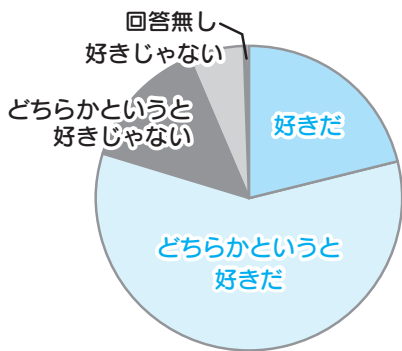
町内企業従業者アンケート結果

町内の企業6社に協力をしていただき、50歳未満の従業員のみなさんにアンケートをとりました。
結果、大口町は住み心地はよいが、

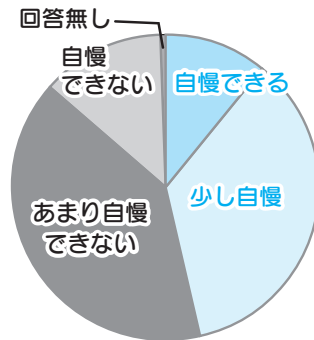
『大口町を自慢しよう』作戦

外に向けてアピールできるポイント
は少ないまちとされています。

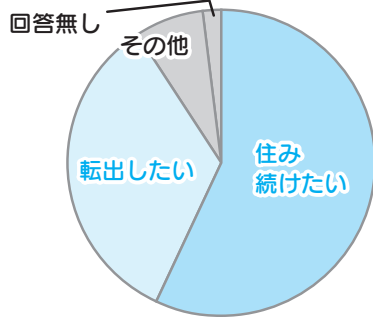
■大口町が好きですか？



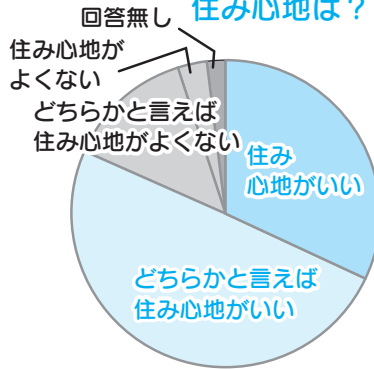
■大口町を他の地域の
人に自慢できますか？



■大口町に
住み続けたいですか？



■大口町の
住み心地は？



若い世代に大口町に定住してもらうには、「せひとも大口町に住みたい」「どのまちより大口町が好き」と思ってもらうことが重要です。そこで、動き出したのが今回の「大口町プロモーション」。

昨年度はその準備段階として3回のワーキング会議や講座を開き、参加者が大口町の魅力やその発信方法について意見交換をおこないました。

同じまちに住む住民同士が集まって自分たちのまちのために知恵を出し合う。相乗効果で無限大のアイデアが生まれそうです。また、新たな仲間作りや活動などにつながっていくことも期待できます。今後、取り組みがどのように広がっていくのが楽しみです。

実現に向けて動き始めます！

4月22日(土)、ほほえみプラザで『大口町プロモーションキックオフイベント』がおこなわれ、5つのテーマについて参加者がプレゼンテーション。熱い想いを語り、キックオフイベントを盛り上げました。

5つのテーマ

① 大口の宝探しプロジェクト

『日頃気づいていない大口町の魅力に気づこう！』

例えば「カントリーエレベーター」。役場の南側にある謎の建物。何のためにあるのか知っていますか？

お米を備蓄してある施設です。どんな仕組みになっているか、興味がありますね！大口町には、このようにまだまだ知られていない魅力的な宝が眠っているはず。宝物を見つけたらインスタグラムやツイッターで発信しよう！

② 大口暮らし自慢発信プロジェクト

『大口町のPR動画コンテスト！』

大口町のPR動画作品を成人の集いや、展示場などで流して、若い世代に大口町の魅力をアピールしては？

③ 桜を楽しむプロジェクト

『大口町といえば桜！』

桜の季節に北の小口城址公園、南の堀尾跡公園から同時に武者行列をスタート。まち全体が一体となって桜の季節を盛り上げよう！

④大口ファミリー・プロジェクト

『人が集まって交流する場所を！』

掲示板で地域の行事やサークル活動を発信。生きがいや趣味を求める人が、情報を収集したり発信したりできる場所を！ 町外の人も訪れたいくなる大口町自慢のランドマークを…。

⑤企業とまち・人をつなぐプロジェクト

『就職活動や転職活動をしている人向けに企業めぐりツアー』

ツアーと併せて、ネット上に企業の紹介ページを作り、大口町のホームページにリンク。若い世代を大口町に呼び込もう！



▲キックオフイベントの交流会

後半は、参加者同士が交流し、プロモーションのアイデア交換。尽きることのないアイデアをネタに、交流を深めました。大口町で何かしてみたいと考えている方は絶好のチャンスかもしれませんね。

最後にキックオフイベントの参加者にインタビュ。まちに対する想いや取り組みへの期待を伺いました。キックオフイベントで知り合い、意気投合した中川彰一さんと水野史土さん

「参加募集の紙を見て、おもしろそうだなあと思っただけで参加しました。就職で九州から大口町へ引越しましたが、大口町は高速道路にも鉄道にも近く、住みやすいまちだと思います。ですが、大口町は住みやすいにもかかわらず、『これ』といった魅力を語れないところが残念。桜に人が集まるように、『これ』という魅力があればもっと人が集まるはず。シンボリックなものができて、もっとアピールしていったらいいなと思います。」



町内企業の寮にお住まいの、岡本健杜さん

「生まれも育ちも九州の佐賀県。大口町のことをもっと知りたいと思いつきました。いろいろな人と交流し意見をきくことができ、楽しかったです。会議で出た話題について、普段から気にかけて実現できるかどうか考えています。インスタグラムなど、SNSを使うアイデアは自分もぜひやってみたい。大口町の行事やまちづくりのことなども知って、もっと大口町を好きになろうと思います。」

大口町の魅力を自分も知りたい！渡辺幸寿さん

「まちの効果的なアピールについては今回のイベントが開かれる前から自分なりに考えていまし

た。大口町はまだまだやれることがたくさんあると思います。まずは、『人が集まれる場所を作りたい』『川を眺めながらぼーっとお茶を飲むオープンテラスや散歩ができる公園』など、まち全体の景観を整えることで、外からも人が訪れるようなまちにしたい。住民が、『自信をもって好き！』と言えるまちになるといいなと思います。」

大口町プロモーションは今後も継続していきます。4月からNPO法人まちねっと大口が加わり、住民主導でのプロジェクトを推進。住民視点で、住民の気持ちに寄り添った発信を目指します！参加は自由。まちの魅力発信に興味のある方は、ぜひのぞいてみてください。

今後の予定は随時広報おおくちにてお知らせします。多くのご参加をお待ちしております！

みなさんのアイデアから生まれた、転入・転出者に渡されるメッセージカード。

